

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

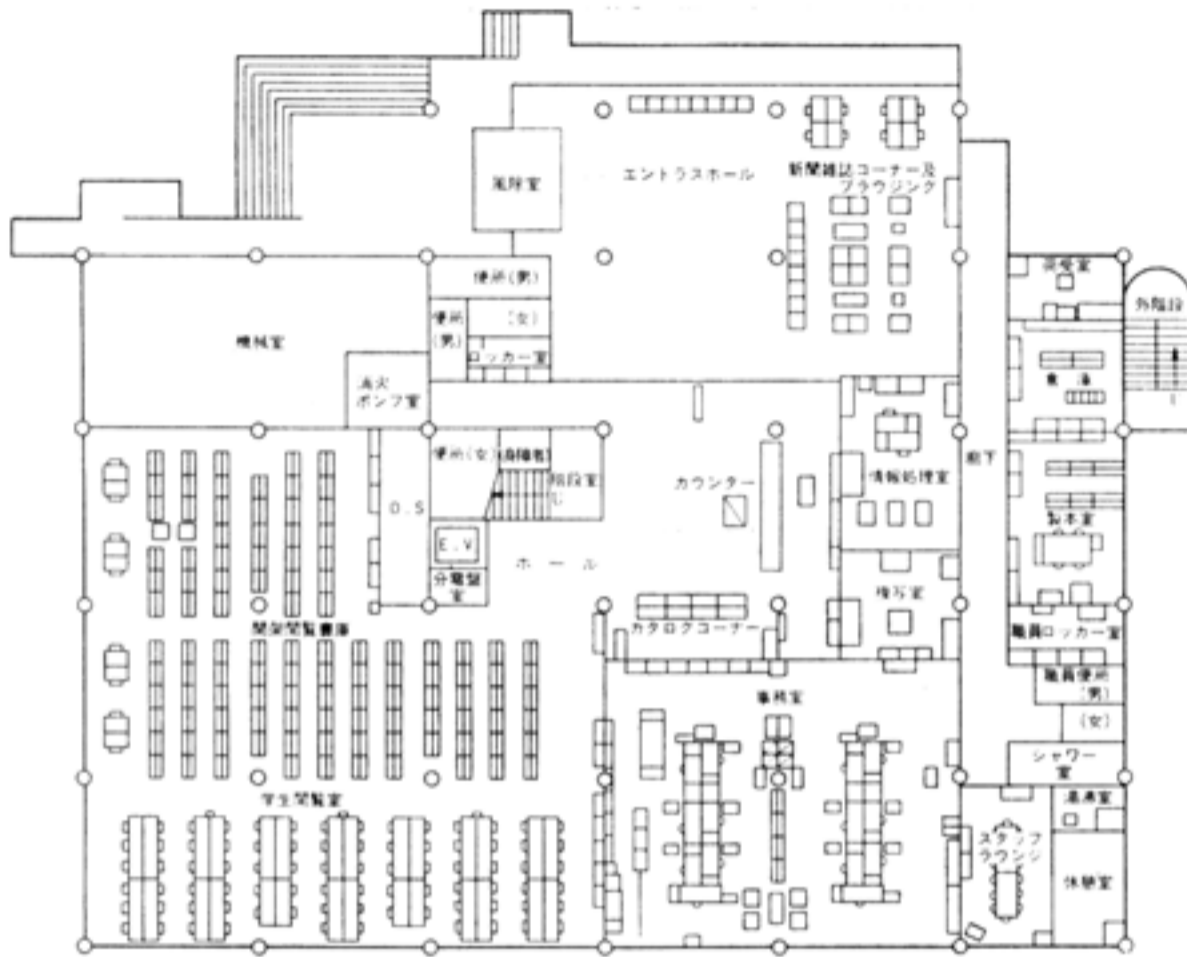
**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

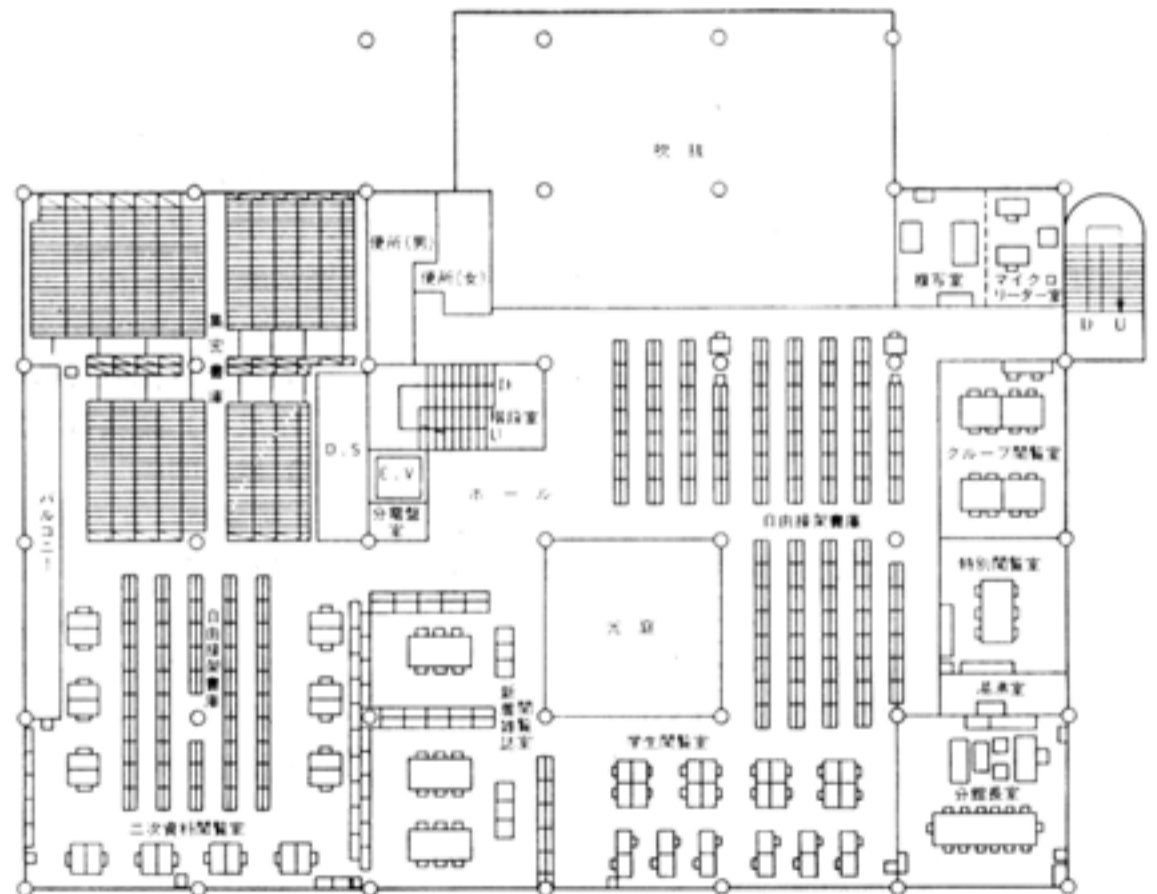
**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

工事概要

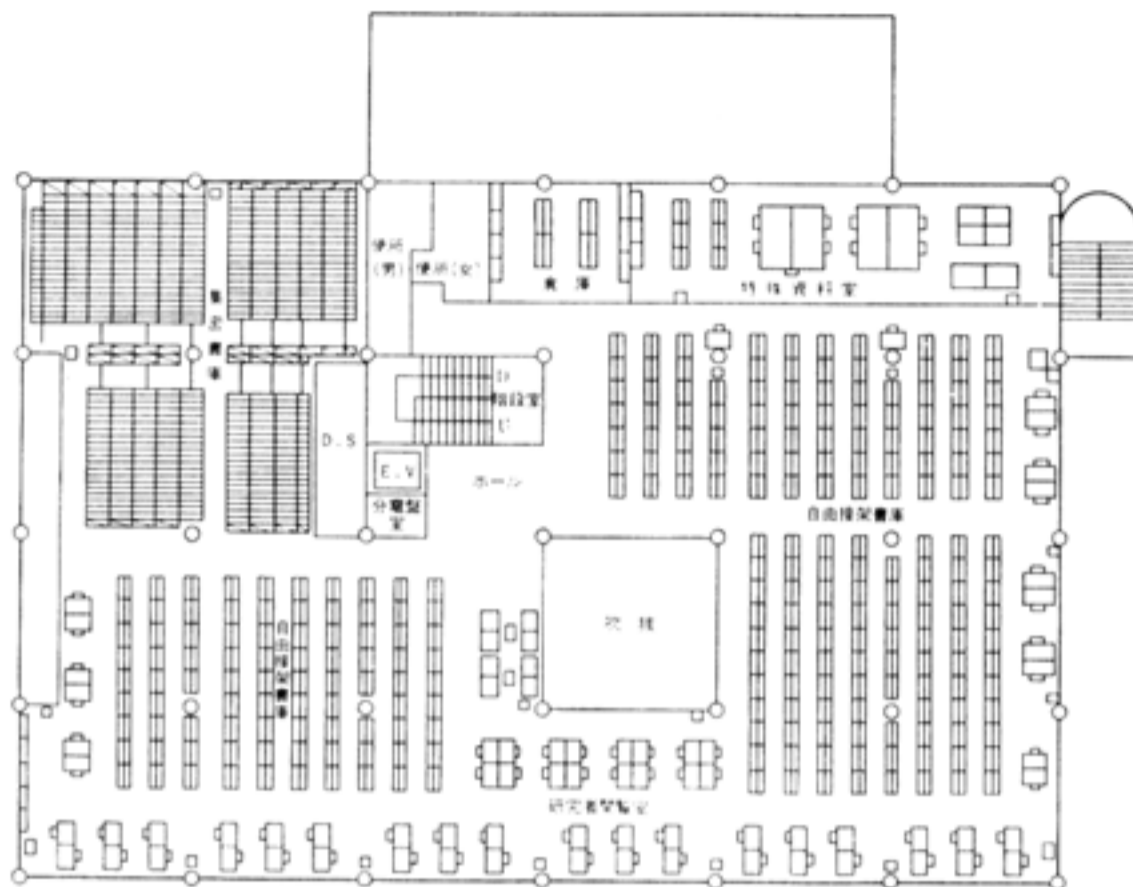
着工 昭和59年3月31日
 竣工 昭和60年3月26日
 構造 鉄筋コンクリート
 4階建
 工事費 536,000,000円
 面積 建築面積 1,254^m²
 延面積 3,356^m²
 収蔵能力 (単位1連7段) 347,000冊
 座席数 1階 126席
 2階 100席
 3階 86席
 計 312席



1 階 平 面 図



2 階 平 面 図



3 階 平 面 図

図書館業務機械化検討の状況 (10)

昭和60年11月～昭和61年1月

図書館業務電算化推進室会議：第9回(11/11), 第10回(11/26) 受入業務サブシステムについて, 第11回(12/10) 閲覧サブシステムの初期データ作成計画, 所在情報コードと予算登録コードの共有化について, 受入業務サブシステムについて, 第12回(12/20) 受入業務サブシステムについて, 第13回(1/13), 第14回(1/23) 雑誌業務サブシステムについて

受入業務WG：第1回(11/5) 図書資料の備消区分, 具体的な入力方法, 予算管理のための組織コードについて

雑誌業務WG：第1回(1/20) 雑誌サブシステムのファイル類及び移行計画について

目録業務WG：第1回(1/31) 目録サブシステムについて

図書館業務機械化掛長等懇談会：第18回(11/18) 国立七大学附属図書館協議会・同部課長会議報告, 受贈雑誌のデータ収集調査状況, 推進室会議報告について, 第19回(12/25) 推進室会議報告, 受贈雑誌のデータ収集調査, 新収洋書総合目録データ

収集及び目録の標準化について, 第20回(1/28) 電算化予算内示, 各分館における機械化検討の体制, 文情センターの状況—特に目録システム, 推進室会議報告について

業務電算化のための前処理(初期データ作成等)業務の実施状況(60年度)

(1) 雑誌関係

- (ア) 所蔵データの遡及的整備 60/7～61/3
- (イ) 受贈雑誌のデータ収集・リスト化 本館及び文科系学部分 60/4～60/9
- (ウ) 受贈雑誌のデータ収集・調査 各分館及び研究所分 61/1～61/3

(2) 閲覧(学閲図書)関係

- (ア) 学閲用カード目録の整備 60/12～61/1
- (イ) 目録カード上へのID-No付与 61/1～61/2
- (ウ) 学閲図書の書誌コントロールナンバーのデータシートへの転記 61/2
- (ニ) 学閲図書(約8万冊)上へのID-Noラベル貼付 61/3(予定)

昭和59年度・中央図書館利用状況の概要

中央図書館の利用状況について昭和59年度利用統計をとりまとめた。これらのうち主要なものを図表にして次に掲載する。

注：表中の〔 〕内は昭和58年度のデータ。

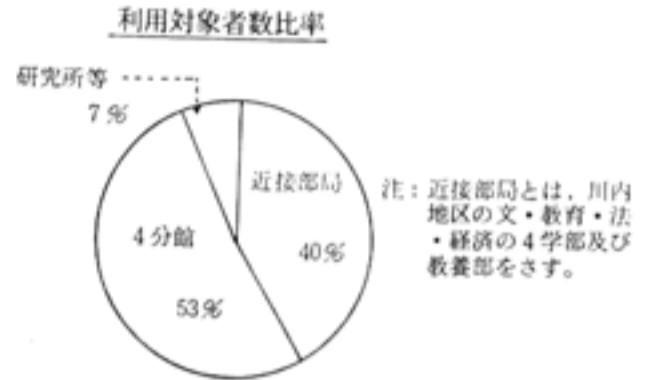
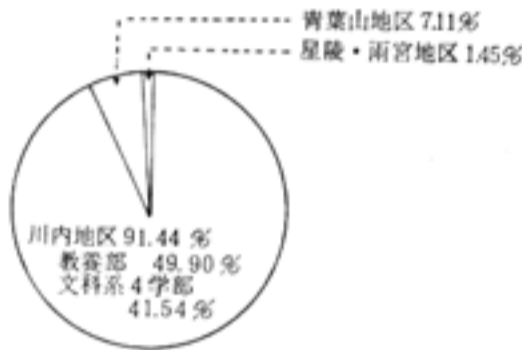
1. 利用対象者数

- ・全学総数 18,653人〔18,445人〕
- ・分館（医・北青葉山・工・農学）利用対象者を除く数 8,800人〔8,758人〕
- ・近接部局利用対象者数 7,551人〔7,500人〕

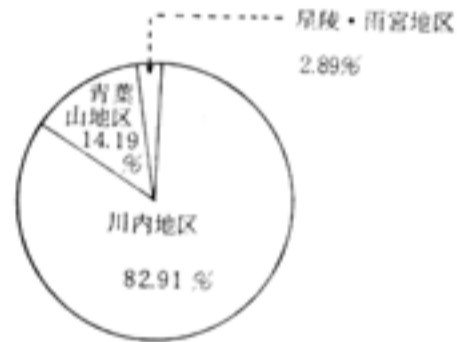
2. 入館者数（推定）

- ・年間総数 455,228人〔474,697人〕
- ・1日平均数 1,575人〔1,626人〕
- ・学生の入館数 416,502人〔433,817人〕

学生・部局別入館者数（入館者実態調査より推計）



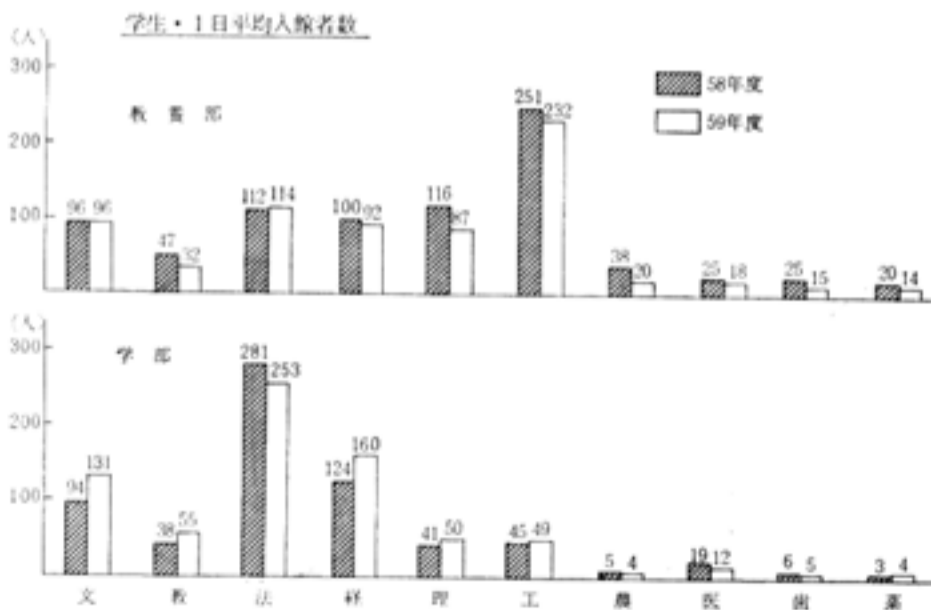
学生・地区別比率(学部学生)



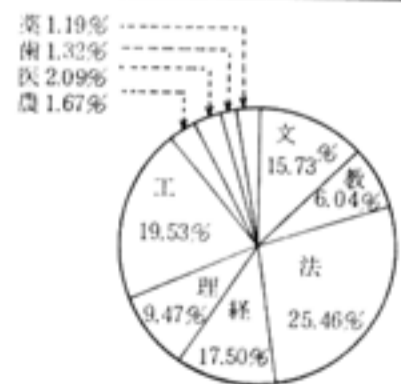
学生・部局別入館者数（入館者実態調査より推計）

		文	教	法	経	理	工	農	医	歯	薬	計	
		1日平均(人)	1日平均(人)	1日平均(人)	1日平均(人)	1日平均(人)	1日平均(人)	1日平均(人)	1日平均(人)	1日平均(人)	1日平均(人)	1日平均(人)	1日平均(人)
教養部	1日平均(人)	96	32	114	92	87	232	20	18	15	14	719	42
	在籍1人当(回/年)	75	61	69	51	40	37	17	20	24	23	[830]	[50]
学部	1日平均(人)	131	55	253	160	50	49	4	12	5	4	722	41
	在籍1人当(回/年)	103	108	137	92	25	9	4	7	4	7	[656]	[39]
計	1日平均(人)	227	87	367	252	137	281	24	30	20	18	1,441	42
	在籍1人当(回/年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[1,486]	[44]

※ 年間開館日数 289日〔292日〕



学生・部局別比率(教養部を含む)



3. 閲覧・貸出冊数（閲覧・貸出の合計）

イ) 利用者別

	学 生	院 生	教 職 員	学 外 者	計
開架閲覧室資料	37,531	1,174	812	95	39,612
書庫内資料	7,664	11,336	11,369	3,603	33,972

ロ) 資料別

	新分類	旧片平 (新書)	旧教養	狩文 野庫	(旧古 片平 典)	個文 人庫	経統 済計	雑 誌	そ の 他	計
開架閲覧室資料	36,400	—	1,515	—	—	—	—	1,125	572	39,612
書庫内資料	12,616	6,080	1,388	2,061	1,832	609	436	8,263	687	33,972
計 [冊]	49,016	6,080	2,903	2,061	1,832	609	436	9,388	1,259	73,584
比 率 [%]	66.6	8.3	3.9	2.8	2.5	0.8	0.6	12.8	1.7	100

4. 入庫者数

院 生	教 官	計
5,151人 [5,559人]	2,546人 [2,574人]	7,697人 [8,133人]

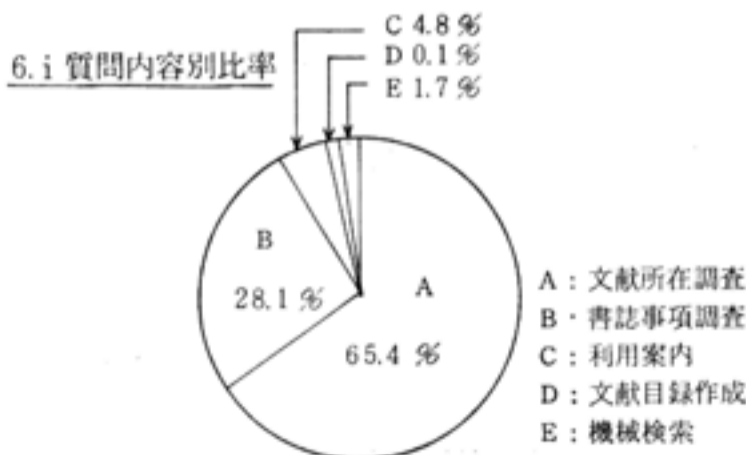
5. 文献複写実績

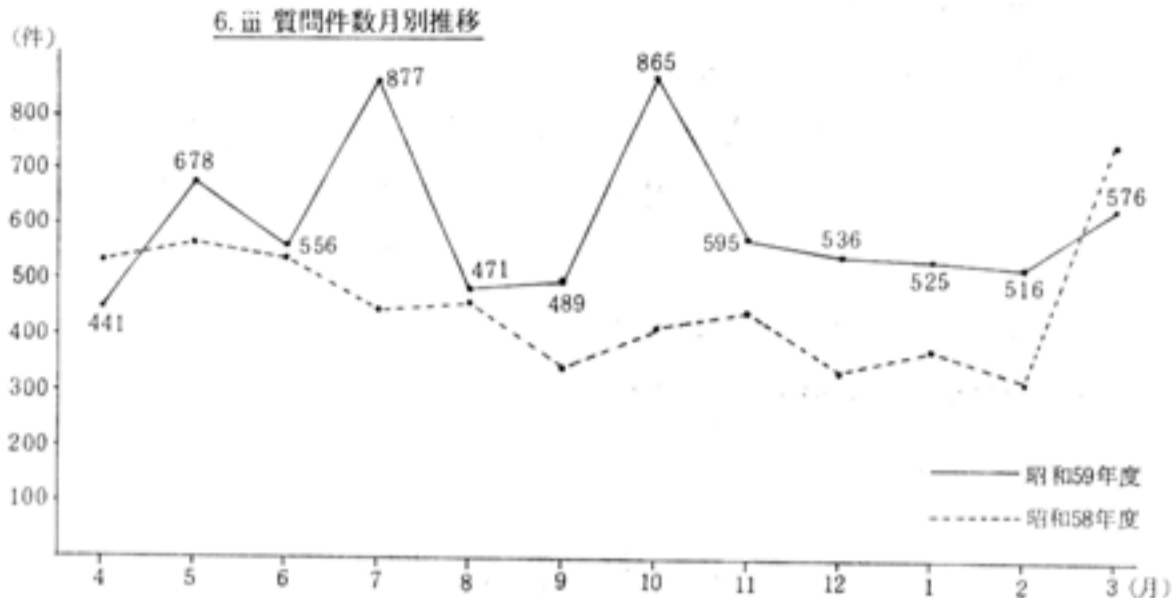
項 目	件 数	枚 数	金 額
学 内	1,118 ^件	13,819 ^枚	552,760 ^円
学 外	1,921	58,984	2,923,540
計	3,039	72,803	3,476,300

6. レファレンス応答件数

区分	身 分	教 官	院 生・学 生	図 書 室	事 務 職 員	そ の 他	計
学 内	人 文・社 会 系 科 学 系	407 [546]	785 [890]	9 [8]	137 [93]	/	4,097 (△87) [3,880]
	自 然 科 学 系 (研 究 所 を 含 む)	1,262 [1,012]	1,247 [1,121]	163 [114]			
学 外		/	/	/	/	3,028 [1,557]	3,028 [1,557]
計		1,669 [1,558]	2,032 [2,011]	172 [122]	137 [93]	3,028 [1,557]	7,125 [5,437]

注：△印は教養部教官分で内数





昭和60年度東北大学附属図書館職員総合研修会

標記第一回研修会は、さる11月22日(金)午後1時半より本館大視聴覚室において開催された。

今回は、グラフィック・デザインを専門とされる筑波大学講師西川潔氏を講師に迎え「図書館のサイン計画について」という題で講演が行われた。

講演の前半は、サイン計画の全体の輪郭についての説明であった。

サインとは、端的に述べると伝達のための目印であり、具体的なものとして看板類、掲示物一般、標識などが含まれる。

図書館におけるサインの特徴としては、(1)公共的性格、(2)変化への対処(書架表示)、(3)表示項目が多い、などが考えられるが、サインの原則として次の三つを挙げることができる、すなわち(1)サインの設置個数を最低限に抑える、(2)サインの情報は、できるだけ少なく、(3)空間型表示サインを充実する、などである。

サイン計画という言葉は、約十年前から使われ出した言葉であるが、従来個別的对象ごとに付

けられていたサインを一つのシステムとして、組織的あるいは体系的に案内しようとするものがサイン計画である。換言するとサイン計画とは、一定の環境における人々に対して、主として行動上の目的を快適かつ安全に果たすために情報の伝達活動を行うよう計画することである。

講演の後半は、氏が昨年の夏にサイン計画の調査をアメリカ、カナダの図書館や病院等公共施設について行った際のスライドや、氏自身がサイン計画を担当した茨城県の村立図書館のスライドを主に、サイン計画の実情や問題点について解説がなされた。

今回の講演は、日常見慣れている図書館のサインを再認識させられ大変有益なものであった。この紙面をおかりして氏に改めて感謝の意を表する次第である。

昭和60年度第二回東北大学附属図書館職員総合研修会が学内、外から70名が参加して、昭和61年2月13日(木)に東北大学附属図書館大AVホールを会場にして開催された。

午前は東北大学大型計算機センター助教授（研究開発第一部長）根元義章氏により、現在、東北大学で計画を進めている「東北大学総合情報ネットワークシステム（TAINS）について」の講演があった。

午後は筑波大学図書館部学術情報課情報検索係長早瀬均氏により、「筑波大学附属図書館におけ

るオンライン図書目録作成と図書検索システムについて」の講演があり、つづいて、大阪大学附属図書館整理課図書館専門員伊藤祐三氏により、「大阪大学附属図書館電算化業務について—文献情報センターシステムとの接続を中心として—」の講演があった。

（総合研修委員）

附属図書館の概況

この概況は毎年実施されている大学図書館実態調査のうちの主な項目をとりまとめたものであ

る。表1は昭和57～59年度の本学の概況、表2は昭和59年度部局別のそれである。

表 1

区 分		昭和 57 年度	昭和 58 年度	昭和 59 年度
蔵 書	和	1,211,993 冊	1,246,094 冊	1,278,479 冊
	洋	1,156,644	1,197,145	1,234,830
	計	2,368,637	2,443,239	2,513,309
所 蔵 雑 誌 数	和	22,557 種	22,651 種	22,768 種
	洋	28,875	29,067	28,838
	計	51,432	51,718	51,606
年 間 図 書 受 入 数	和	37,903 冊	35,231 冊	32,464 冊
	洋	44,100	41,130	37,703
	計	82,003	76,361	70,167
年 間 雑 誌 受 入 数	和	9,655 種	10,146 種	9,835 種
	洋	11,545	11,482	10,928
	計	21,200	21,628	20,763
象 奉 者 仕 数 対	学 生	13,145 人	13,385 人	13,608 人
	教 官	2,438	2,436	2,441
一 奉 人 仕 当 対 象 者	蔵 書 数 (冊)	152	154	156
	年 間 図 書 受 入 数 (冊)	5	5	4
	図 書 館 資 料 費 (千 円)	50	51	48
図 書 館 職 員 数	総 数	169 人	166 人	166 人
	専 任	101	100	96
	臨 時	68	66	70
図 書 館 職 員 1 人 当 り 奉 仕 対 象 者 数 (人)		92	95	96
図 書 館 資 料 費 (千 円)		783,790	808,109	767,046
大 学 総 経 費 (千 円)		52,499,433	54,331,045	56,159,924

表 2

部 局	職員数 (内: 主任 職員: 人数)	蔵 書 (昭和60.3.31現在)						昭 和 59 年 度 受 入 数						昭 和 59 年 度 経 費				施 設 (昭和60.5.1現在)					
		国 書 (冊 数)			雑 誌 (種 類 数)			国 書 (冊 数)			雑 誌 (種 類 数)			国 書 館 資 料 費				運営費 (職員給 手当除く) (千円)	座席数 (席)	延面積 (㎡)	閲覧室 スペース (㎡)	書 庫 スペース (㎡)	収容可 能冊数 (千冊)
		和	洋	計	和	洋	計	和 (うち購入)	洋 (うち購入)	計 (うち購入)	和 (うち購入)	洋 (うち購入)	計 (うち購入)	国書 (千円)	雑誌 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)						
本 館	65(25)	506,438	254,230	760,668	11,210	11,937	23,147	9,750(7,820)	5,835(4,649)	15,585(12,469)	2,009(529)	930(594)	2,939(1,116)	122,235	38,323		160,558	128,371	938	12,480	2,933	4,552	1,035,389
文	2(1)	141,036	88,135	232,171	813	704	1,517	5,328(4,682)	3,573(2,972)	8,901(7,654)	530(212)	516(480)	1,046(692)	47,159	9,018	180	56,357	3,589	4	68	15	10	4,972
教	2(1)	38,048	24,277	62,325	727	315	1,042	663(550)	649(590)	1,312(1,140)	451(122)	240(230)	691(352)	7,825	4,865		12,690	5,747	20	268	89	90	11,941
法	3	65,192	87,618	152,810	792	580	1,372	1,674(1,250)	2,751(2,572)	4,425(3,831)	543(169)	457(424)	1,000(587)	42,401	6,403	580	49,384	4,679	33	639	65	411	50,667
経	4(1)	130,254	125,407	255,661	1,316	830	2,146	2,666(1,130)	2,445(2,173)	5,111(3,603)	795(130)	410(345)	1,205(465)	29,282	8,529	2,800	40,611	6,757	23	259	45	125	27,472
農 研	2	21,321	9,638	30,959	383	273	656	518(349)	259(64)	777(407)	253(45)	235(71)	488(116)	2,255	3,878		6,133	893	10	206	18	160	32,638
選 研	2(1)	6,000	11,538	17,938	247	282	529	160(40)	475(156)	635(196)	131(40)	147(102)	278(142)	3,041	6,633		9,674	2,236	16	246	37	144	25,972
科 研	2(1)	3,839	12,250	16,089	282	135	417	40(30)	140(44)	180(75)	257(10)	109(65)	366(75)	1,280	6,427		7,707	3,395	20	574	58	375	36,556
速 研	2(1)	10,283	14,405	24,688	84	198	282	217(179)	431(210)	648(388)	311(37)	169(109)	480(146)	4,268	6,512	47	10,827	4,325	8	189	27	140	22,625
通 研	2	5,335	12,918	18,253	124	246	370	217(81)	631(140)	848(221)	277(67)	258(176)	535(249)	2,736	11,955	2	14,693	1,709	10	335	59	247	28,277
非 水 研	2(1)	4,783	15,957	20,740	78	209	287	273(88)	853(177)	1,126(265)	44(28)	145(137)	189(165)	4,848	12,998		17,846	1,514	30	430	63	351	23,525
応 情 研		461	1,228	1,689	3	41	44	14(14)	30(30)	44(44)	3(3)	41(41)	44(44)	531	838		1,369	77					
サイクロロン	2(2)	679	1,901	2,580	4	32	36	43(33)	198(198)	241(231)	11(7)	37(32)	48(39)	860	4,348		5,208	6,669	5	98	12	35	5,778
大 計	1(1)	1,738	1,452	3,190	30	31	61	91(73)	86(20)	177(93)	23(23)	26(25)	49(48)	756	1,111		1,867	2,684	1	59		46	3,889
情 教																							
計	91(35)	908,407	661,354	1,569,761	16,093	15,793	31,886	21,654(16,623)	18,356(13,965)	40,010(30,618)	5,638(1,404)	3,720(2,831)	9,358(4,235)	269,477	121,838	3,609	394,924	172,635	1,118	15,911	3,421	6,719	1,318,704
医 学 分 館	21(11)	113,813	174,265	288,078	1,664	4,325	5,989	3,017(2,469)	3,939(3,753)	6,956(6,222)	1,081(462)	2,341(1,952)	3,422(2,414)	29,480	76,460		105,940	44,066	327	4,025	256	2,190	418,333
北 青 葉 山 分 館	21(11)	51,052	202,657	253,709	1,892	5,787	7,679	3,295(818)	8,626(1,224)	11,921(2,042)	1,137(199)	2,724(781)	3,861(980)	24,621	75,650		100,271	40,392	247	2,895	658	1,570	281,235
工 学 分 館	21(8)	113,074	119,109	232,183	1,602	1,570	3,172	2,757(1,964)	4,022(1,850)	6,779(3,814)	1,080(365)	1,195(880)	2,275(1,185)	37,924	63,589	1,239	102,752	29,761	433	4,423	1,492	1,008	224,806
農 学 分 館	6(2)	46,953	34,850	81,803	1,245	830	2,075	1,486(1,250)	1,566(289)	3,052(1,538)	674(107)	610(274)	1,284(381)	8,899	21,907	248	31,054	10,458	116	1,279	326	418	66,500
全 研	6(3)	15,180	42,595	57,775	272	533	805	255(149)	1,194(369)	1,449(515)	225(54)	338(233)	563(287)	8,331	22,539	1,235	32,105	7,370	30	428	28	318	55,167
総 計	166(70)	1,278,479	1,234,830	2,513,309	22,768	28,838	51,606	32,464(23,273)	37,703(21,479)	70,167(44,749)	9,835(2,531)	10,928(6,951)	20,763(9,482)	378,732	381,983	6,331	767,046	304,682	2,271	28,961	6,181	12,223	2,364,745

**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

東北大学記念資料室だより

最近、本室へ寄贈していただいた図書のうちおもだったものを御紹介しましょう。

1) 『新明社会学とその周辺』(『社会学研究』特別号) 前号で御紹介した『新明正道ワイマール・ドイツの回想』とともに、新明先生の御遺徳をしのぶ記念的刊行物であります。今回は「新明先生追悼事業会」という門下の学者の方々の編纂にかかるもので、第1部に新明社会学の学問的・形成・性格・展開を論じ、第2部に新明先生の思い出を30余人が語り、第3部に新明先生を開祖として発展した東北大学社会学研究室史を取っています。巻末には先生の略歴や著作目録があって、今後の研究にとって貴重であるとともに、巻頭の生前の写真や葬送の詞の幾篇かは、いずれも心のこもったもので、この種の刊行物の中でも抜群のものと思われま

(A 5 588ページ, 7,000円)

2) 『東京工業大学百年史通史・部局史』2冊各1369ページ, 1210ページ。昭和56年5月、開校100年の式典をあげた東京工業大学は、明治14年の東京職工学校にはじまる我が国工業教育の先駆、いわゆる蔵前の高等工業の伝統をつぐ名門大学ですから、その歴史にも他の大学と違った大きな特色があります。前身をなした東京職工学校には初代校長として松下村塾に学んだ正木退蔵の名がみえ(明治14年)、同校外人教師の精華ともいべきワグネル先生(17年)、同校の祖(おや)といわれる手島精一校長(22年)、その下での東京工業学校への改称(23年)、その拡張と専門学校となるべき再拡張を経て、東京高等工業学校への前進(34年)、など人物の個性と組織制度の変転は興味のないものがあります。旧制東京工業大学への昇格(昭和4年)の運動も大変だったことがわかります。

しかしもっとも興味深いのは、その大学の昇格のとき教授の人選について中心となって働いたのが、東北帝国大学理学部の真島利行教授であり、推挽によって東北から続々と秀才が大学教授として着任し、後々まで続く両大学の深い関係の端緒を開いたことでもあります。真島教授はずっと仙台におりながら、北海道帝大理学部、東京文理大(筑波大の前身)、台北帝大等

の創立にあたって常に任選の中心となることを依頼され、多くの人材を仙台から全国へおくり出して来られたのです。この時東工大へ行かれた方には、加藤多喜雄、上野繁蔵、武井武、星野敏雄の諸先生が並んでみえます。この故でしょう東工大の学長には第2代に東北帝大教授で大阪帝大教授兼任であった八木秀次先生がおられ(17年)たほか、また実吉純一学長(41年)、齋藤進六学長(52年)など東北出身の教授の学長となる場合が多かったようです。

この反対に、東京高等工業学校の時代、同校の卒業生で東北帝国大学へと進学して学者として大成した人も多くあります。例えば沼知福三郎(大11卒)工学部教授、高速力学研究所長がありますし、茅誠司(大12卒)北海道帝大教授、東京帝大教授、東京大学総長があります。傍系への門戸開放で聞えた東北帝大と、精鋭第一で人材を集めた東京工大との、まことに好ましい提携というべきでありま

このような御縁によるのでしょう、東工大ではこの百年史を編纂するに際して委員長の小林靖雄教授は、「東北大学五十年史」を大いに参考とされるとともに、礼をつくして東北大学から編纂実務の中心となる人を推薦することを求められ、遂に文学部日本思想史の田代和久助手が東工大に転じて、このことに従事しました。それから今日まで9年の間辛苦の結果このみごとな成業にいたったもので、本学記念資料室としても悦びにたえない所であります。なお田代君がこのたび放送教育研究所助教授として新ポストを得たこともさらにうれしい事でもあります。

現在進行中の忙しい仕事は、例年のとおり停年退官教官の記念写真の作製と、同じく著作目録の作製の作業であります。前者はすでに全教官41名の撮影を完了したところで、後者は現在、印刷所において文選・組版の最中でありまして、3月下旬完成をめざしております。本年の目録希望者は30名で、これが完成すると、本室著作目録は通巻303号となる予定であります。その氏名は次回にお知らせしましょう。

お 知 ら せ

(1) 開架閲覧室の閉室について

図書館業務電算化計画の一環として、閲覧サブシステムの前処理作業を実施いたしますので、下記日程により開架閲覧室を閉室するとともに開架図書の貸出を中止します。利用者の皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

記

閉室期間：昭和61年3月3日(月)～3月29日(土)

貸出中止期間：昭和61年2月24日(月)～3月29日(土)

※ レポート提出等で緊急に開架図書を必要とする方はメインカウンターの係員に相談して下さい。

※ 2月28日(金)以降の返却受付はメインカウンターで行います。

(2) 卒業(修了)及び退職・転動予定の方へ
—貸出図書の返納について—

昭和60年度を以て、卒業(修了)及び退職・転動等により本学から異動される予定者で、附属図書館(本館・分館)から図書館資料を借用している方は、期限内にすべてご返納ください。返納が遅れますと、他の利用者にたいへん不便をかけることとなりますので、よろしくご願ひいたします。借用図書の内訳を確認し

たい場合やその他返納手続等について不明な点がありましたら、本館または分館の該当カウンターにお問い合わせください。

なお、下記事項には特にご注意ください。

※個人名義で借用された図書をそのまま研究室に残したり、名義の書換えなしに同僚や後輩の方に預けたりせず、必ず返却の手続をおとりください。

※退官を以て本学の名誉教授になられる方は、ひき続き図書の貸出を受けられますが、事務処理上、一旦返納いただいた上で改めて借用手続をおとり願うことになります。

(3) 昭和61年度入館券・貸出券の申込受付
について

新入生の入館券登録申請については、入学手続と同時に進んでおりますが、在学・在職中の方の申込み及び交付手続は従来通りの方法で行いますので、61年3月をもって有効期限の切れる入館券または貸出券をお持ちの方、新たに登録を希望される方は、図書館カウンターの方に申込んでください。

申込みは、学生は開架閲覧室カウンター(2階)、教職員・院生はメインカウンターで受け付けます。

人 事 異 動

発令年月日	旧 官 職	氏 名	新 官 職	備 考
60. 12. 1		塚 本 哲 人	附属図書館長	併 任
"	附属図書館長	吉 岡 昭 彦		解 任
61. 1. 20	農学分館事務補佐員	丹 野 みゆき		辞 職

編 集 後 記

館報「木遣子」が創刊されてから10年余、今号で通巻40号となりました。少なからず図書館の現状と活動の様子をお伝えできたものと思っております。

この間には、農学・工学・医学の、そして今号でもお知らせしたように北青葉山の各分館が新築又は設置され、図書館という名の容れ物は一応整ったこととなります。

しかし、学術研究のための資料は急速に増加しており、効率的な資料の管理と提供のためには、多くの問題を抱えているのが現状です。こうした課題を解決し、内容を充実させるためにも、本誌が図書館(員)と利用者の相互理解のためのコミュニケーションの場となるよう利用者の皆様の率直な感想と意見をお待ちしております。

今後とも御理解と御協力をお願い致します。

東北大学附属図書館報「木遣子」 第10巻 第4号(通巻第40号) 発行日 昭和61年2月28日
 編集委員長 南館義孝 編集委員 佐藤忠弘、小野和夫、佐藤正弘、及川恵美子
 発行人 柿沼正男 発行所 東北大学附属図書館 仙台市川内 電話 代表 22-1800(2408)